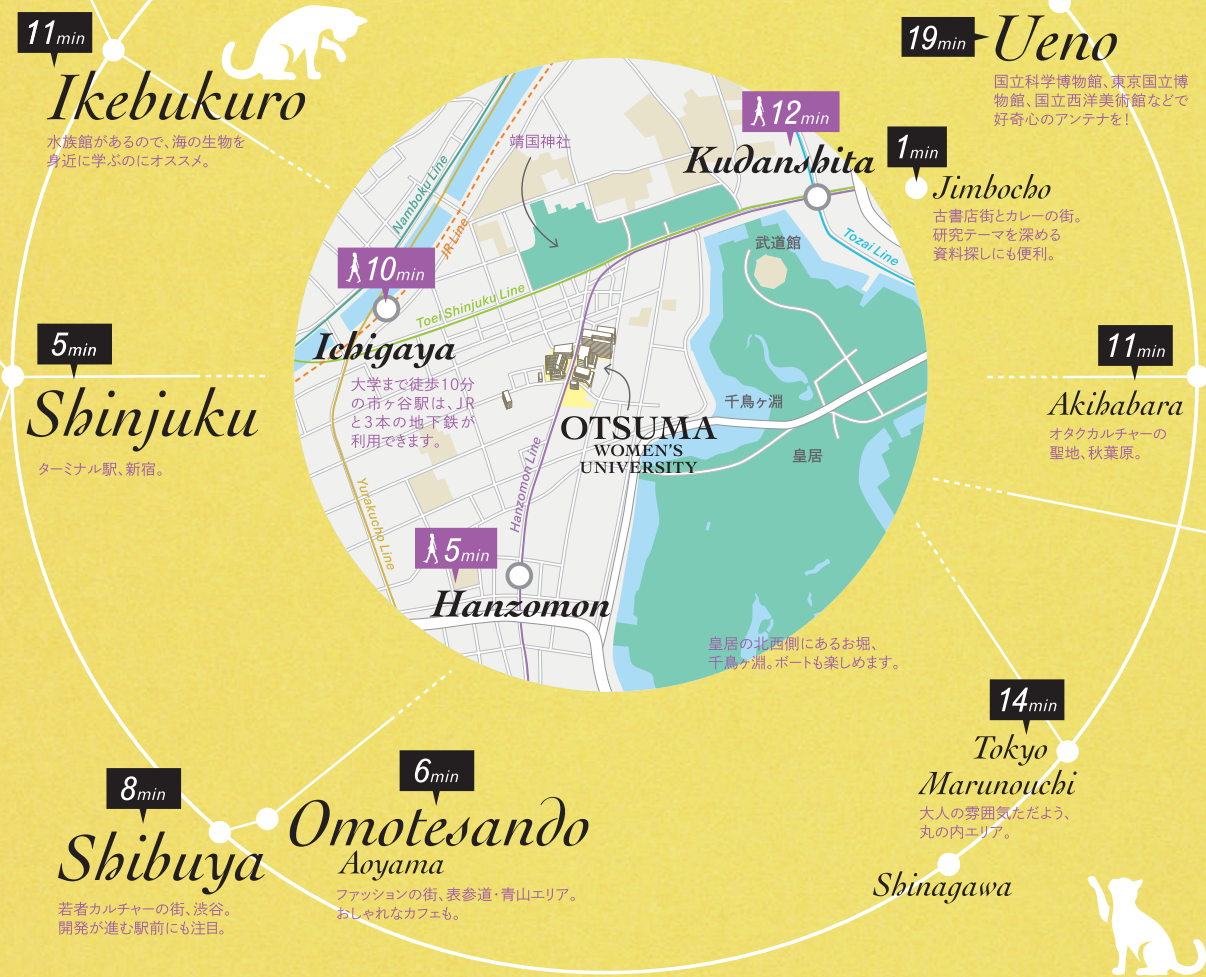


# Access Map

東京のど真ん中にある千代田キャンパス。  
立地を活かし、学びに遊びに、起動力あるキャンパスライフを過ごしてみては？



\*位置関係はおおよその目安となります。  
\*所要時間はキャンパスの最寄駅(市ヶ谷・半蔵門・九段下のいずれか)から各駅までの所要時間の目安です。

ボーダレスな  
学びは  
おもしろい。  
環境情報学専攻では、  
文系や理系の枠にとらわれず  
さまざまなジャンルやテーマから  
総合的に環境を考えるという  
ユニークな学びを展開しています。



## 大妻女子大学 千代田キャンパス

千代田キャンパスは、市ヶ谷駅から徒歩10分。半蔵門駅や九段下駅からも近くアクセスが便利な立地です。すぐ近くには、千鳥ヶ淵や靖国神社などの名所もありゆったりとした時間が流れています。また、各国の大使館も多く国際色豊かなエリアです。

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地 ☎03-5275-6000



本館E・F棟



H棟



入試・  
オープンキャンパス  
情報はこちら

発行

大妻女子大学 社会情報学部  
社会情報学科 環境情報学専攻

<https://www.sis.otsuma.ac.jp/kanky/>



制作：西村康浩(株式会社エンナカ)  
AD+デザイン：金子英夫(テンテツキ)  
撮影：佐藤洋彰(camp)  
イラストレーション：鳥居塚祥蔵(オフタリデザイン) / P02-03



大妻女子大学  
社会情報学部 社会情報学科

# 環境情報学 専攻ガイド 2024

GUIDE to Major in Environment and Information Studies

# 環境情報学専攻へようこそ

## まず自分の暮らしを知る。 そこから想像してみる、 自然とのつながり。

「環境」を学んでからちょっと視点が変わってきた、  
大学1年生のキョーコさん。  
“まずは自分の暮らしから！”と、試しに1週間、  
すべてのプラスチックごみ(プラごみ)を集めて並べてみました。  
それによってたくさんのプラごみを出していることに  
あらためて気がついたのです。  
できることから無理なく続けられる方法を探してみましょう！

### Q プラスチックって なにからできてる？

- 1 石油
- 2 天然ゴム
- 3 天然ガス

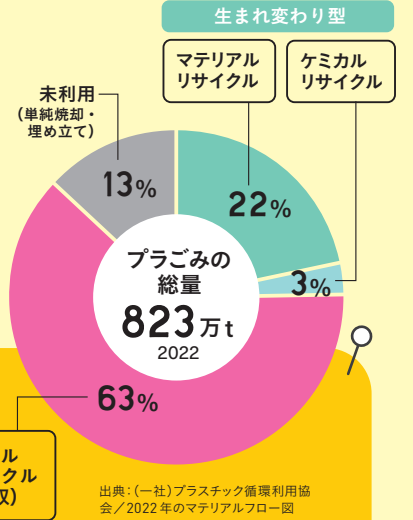
正解はページ右下



日本の使い捨て  
プラスチックの  
国民一人当たりの  
廃棄量は  
年間 **37kg!**  
世界 18位と多い。

出典: Plastic Waste  
Makers Index 2021

1週間プラスチック  
ごみチャレンジって？  
「My Plastic-free Life」と  
いうプラスチック・フリー生  
活の情報発信サイトの運営  
者・活動家のベス・テリーさ  
んが呼びかけている実験。



## 日本のプラごみの リサイクル方法には3種類！

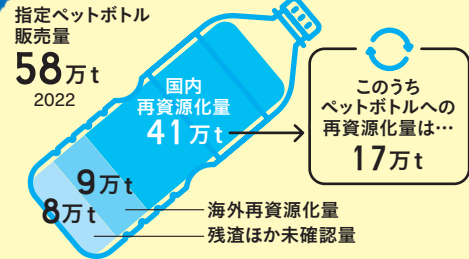
プラごみのリサイクルには、プラごみを溶かし、再びプラスチック製品をつくるマテリアルリサイクル、化学的に分解して再利用するケミカルリサイクルといった方法があります。  
現状の6割を占めるサーマル(熱)リサイクルは、プラごみを焼却するなど熱処理して、そのエネルギーを発電などに利用する方法です。“循環”という視点から見ると、どうでしょう？

## プラごみのリサイクルが 難しい理由って？

キョーコさんの“チャレンジ”からも、パッケージ(容器包装)の割合が高いことがわかります。  
プラスチックにはさまざまな種類があります。それらをまとめて溶かしても、利用価値のあるプラスチックにはなりません。  
ペットボトルや食品トレイなど、同一素材であっても、食品かすや臭いの付着など、古紙やアルミ缶のようにくりかえしリサイクルするには課題が多くあるのがプラごみのリサイクルの難しさです。



## DOWN CYCLE



### ペットボトルってどれくらい リサイクルされてる？

再びペットボトルにリサイクルされたのは販売量の約3割の17万t。多くは、運搬用パレットや植木鉢など、低価格製品に。リサイクル前の素材価値を下げてしまうためダウンサイクルと呼ばれます。

出典: PETボトルリサイクル推進協議会(2022)

## UP CYCLE

リサイクル前の  
素材価値を上げる  
リサイクル！  
アパレル業界の場合



トラックの荷台のビニール製の幌(ほろ)を利用して、デザイン性の高いバッグに！

漁網などを再生して開発した「エコニール」(再生ナイロン)を使って、服・バッグをつくるハイブランドも。

## REFUSE!

### リサイクルは最後の手段。 もらわない、使わない。

でも、プラスチックを使わない生活を送るのは、現実的ではありません。  
プラごみ対策に、いまわたしたちが無理なくできることは、ごみのもとになるものをできるだけもらわない(REFUSE)、使わないようにすること。使い捨てプラではなく、長く大事に使える素材で代用できないかな？ 手作りできないかな？ などと考えてみると、暮らしはもっと豊かになっていくかもしれません。



参考文献  
『プラスチックの現実と未来へのアイデア』監修 高田秀重(東京書籍/2019)  
『図解でわかる14歳からのプラスチックと環境問題』インフォビジュアル研究所(太田出版/2019)  
『プラスチック・フリー生活』シャントル・プラモンド、ジェイ・シンハ(NHK出版/2019)

Illustration © 鳥居塚祥蔵(オフトリデザイン)

# カンキョーで学ぶ

1～2年次では、主に専門の基礎となる科目を学び、3年次から専門を深めるゼミがスタート！そして、4年次の卒業研究へつなげていきます。

## 1～2年生 基礎を固め総合的に環境の「今」を！

専門の基礎となる科目や、実験などの技術的なスキルについても丁寧に学んでいきます。講義のほか、野外での観察、まちづくりの様子の見学、フィールドワークの実習など、実体験を通して環境の「今」を知ることができます。



## 3年生 ゼミで研究テーマを深めていきます。

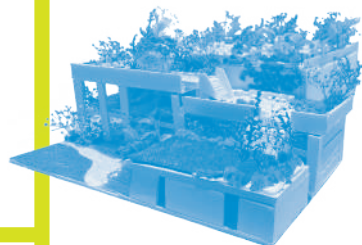
3年生からはゼミも始まり、より専門的な知識を身につけていきます。先生やゼミの仲間と一緒に環境をテーマに意見を出しあったり、文献を読んだりして、卒業研究に向けて興味のあるテーマを見つけていきます。



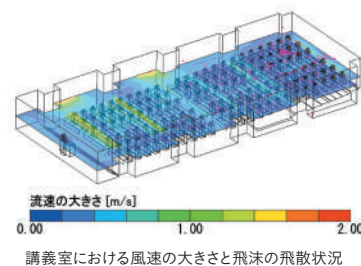
## 4年生 集大成として卒業研究を行います。

ひとりひとりが興味を持ったテーマについて、観察、調査、実験や分析などさまざまなアプローチで研究に取り組み、その結果を論文にまとめ、さらに発表を行います。

ゼミを通して、先生や仲間たちと積極的に交流していくことで、コミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルが磨かれ、就職活動にも役立つ実践的な力が身につきます。



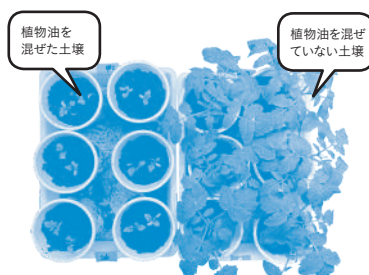
コトカフェテラスとつまっこ広場をつなげる立体化案



卒業研究の成果 (一例)



卒業研究等で作成した海の観察ガイドブック



食用油汚染土壌が植物の成長に与える影響

## ボーダレスな学びのフィールド

気になるキーワードから興味のあるゼミを選んでさらに専門的に学びましょう。

社会のしくみから環境を考える



- 法律  政策
- 経営  国際会議
- グローバルな視点

06P ▶ 木村ひとみゼミ

- 環境と経済の両立
- 環境省 / 環境白書
- 文化と社会問題

07P ▶ 黒沼吉弘ゼミ

- 資源循環型
- 食と環境
- フードシステム

07P ▶ 坂内 久ゼミ



環境にやさしい暮らし方や住まいを考える



- 都市の風
- 住まいの熱・換気
- 快適で省エネな暮らし

08P ▶ 白澤多一ゼミ

- 家族と住まいの形
- 共生型住宅
- 住空間とコミュニティ

09P ▶ 大橋寿美子ゼミ

- 住環境の「再生」
- 子育て家族の住まい
- 都市計画・住宅問題

09P ▶ 松本暢子ゼミ

- 自然と共生する暮らし
- 古民家  遊び場
- コミュニティデザイン

10P ▶ 木下 勇ゼミ

自然との共生から環境を考える



- 身近な化学物質
- 植物に与える影響
- 河川の調査と分析

11P ▶ 鈴木優志ゼミ

- 海の生きもの
- 環境汚染物質の影響
- 海の大切さを伝える

12P ▶ 細谷夏実ゼミ

- 大気・河川の化学物質
- 化学物質の測定
- 環境リスクの評価

12P ▶ 四ノ宮美保ゼミ

- 宇宙の成り立ち
- 天体観測
- 科学を伝える教材作り

13P ▶ 下井倉ともみゼミ

GUIDE TO MAJOR IN ENVIRONMENT AND INFORMATION STUDIES

SDGsのこと



2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。環境情報学専攻では、17のゴールのうち、自然環境、住まいやまちづくり、食やエネルギー、経済や法律、環境教育など、さまざまな内容に関して学ぶことができます。

ゼミの「リキョ」も「リキョ」。

# 木村ひとみゼミ

Hitomi Kimura SEMINAL

法律、政策や経営などグローバルな視点で環境を考えています。



ゼミでは、食品ロス、プラスチックの海洋汚染、地球温暖化など世界が抱える環境問題を、各国がどのような制度や政策のもとに取り組んでいるか、また、エコカーなど企業がCSR(企業の社会的責任)として行う環境に配慮した取り組みなど、法律、政策や経営の観点から研究しています。英語に自信

がなくても、自分の興味からテーマを決めて研究したり、さまざまな国際会議を見学したり、ゼミを通して語学力のレベルアップにもつながります。環境問題をグローバルな視点で見えていくことで、私たちが今できることを一緒に考えていきませんか? 4年生との交流も多く、気軽に相談ができるゼミです。

## Profile



Hitomi Kimura

愛知県生まれ。日米の大学、大学院、民間企業、研究所を経て本学へ。気候変動法が専門です。企業が「ISO」を取得するためのコンサルタント会社に勤務経験があります。趣味は、ジョギングなどのスポーツのほか作曲や料理。



### 国際会議の見学

これまで、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)、ESDユネスコ世界会議や水俣条約外交会議など、国際会議に積極的に参加しています。



### ゼミ宿舎で世界遺産を見学

ユネスコの英語版サイトや文献で勉強してから、世界遺産に登録された資産のある長崎県を訪問。憲法や戦争について考える機会にもなりました。



### 東北植林復興ボランティア

仙台津波復興支援センターでのがれき処理、津波から命を守る「森の防潮堤」をつくる植林に参加しました。

## ゼミの主な研究テーマ

卒業生の研究テーマの一例です。

- 国内外の飲食店のストロー廃止の取り組み調査
- 存続の危機にある世界遺産の調査
- 震災時に海外に漂流した災害廃棄物の課題と法律や条例との関わり
- 日本の公害が生態系に与えた影響と今後の課題について

# 黒沼吉弘ゼミ

Yoshihiro Kuronuma SEMINAL

「環境と経済の両立」を社会科学の視点からゼミ生みなで考えます。

持続可能な社会をつくるために、自然環境と社会環境の関わりについて、経済や法律といった社会科学の視点で考えていきます。『環境白書』を読み、仲間とともに考え活発な意見交換をしています。環境省の訪問の他、国際的な活動をしているNPOや国際協力事業団などの専門家、環境経営に係わる企業の方などをゼミに招いて、実際の社会環境がどのようなものなのかを聞く機会も。環境に対するさまざまな考え方をすることで、自分の興味や視野を広がるきっかけになっています。ISO14001内部環境監査員の資格取得者も多いゼミです。

## Yoshihiro Kuronuma

東京都生まれ。学生時代に南太平洋でイルカと会話したことから得たセンタが研究の成果に。休日は、貝殻拾い、潮干狩り、磯遊び、釣り、海水浴、シュノーケリング、スキューバダイビング、セイリング、ホエールウォッチング等、海で遊ぶことが楽しみです。



みんなで環境省を訪問しました!

## ゼミの主な研究テーマ

卒業生の研究テーマの一例です。

- 海・森林・山・大気・宇宙などに関わる管理問題(水循環、世界自然遺産、農林水産業など)
- SDGsなどの人間社会と自然環境にかかわる諸問題(食料問題、自動車産業、廃棄物、リサイクルなど)
- 文化・経済などにかかわる社会環境問題(音楽、アニメ、飲酒、コンビニ、スポーツ、化粧品など)



### 環境省訪問とディベート

毎年発行される「環境白書」から環境問題の現状と最新データを知り、担当部署を訪問し意見交換も行っています。



### ゼミ研究報告会(2023年2月5日)

年に一度、黒沼ゼミ生2・3・4年生とOGが集まり、3・4年生の研究報告をもとにみんなで考え真理を追求!

資源循環を意識しながら、「食」と「環境」を考えていきます。

世界が抱えるさまざまな環境、経済、社会の問題を理解していく中で、私達がよりよい暮らしをしていくには? 環境に配慮したライフスタイルとは? といった問題意識をベースに、社会科学の視点で「食」を生産・流通・消費・廃棄・残渣・再利用の面から多角的にとらえ、持続可能な社会を実現するためのフードシステムについて考えていきます。文献のほか、公設市場や子ども食堂など、現場に関わる人から直接話を聞くことで自分の問題としてとらえる力が身につきます。



Hisashi Bannai

福島県生まれ。農業経済と地域経済を専門に研究しています。地元の会津に帰れる時は、お祭りに参加したり、四季折々の野菜作り、畑の除草の手伝いも楽しんでいます。1日1万歩を目標に、健康な生活を心がけています。



2泊3日の夏合宿では、山梨県畜産酪農技術センターを訪問。畜産や酪農分野の試験研究事業について説明を受けたり、搾乳牛や生まれたての子牛などを間近に見ることができました。



### 身近な所でフィールド調査

アルバイト先の飲食店など、身近な場所から食の問題を考えていきます。日常の視点と環境への意識も変わってきます。



### 生産と流通の現場を見学

北海道、東北や関東など、ゼミ生の出身地の現場を見学。実際に働く人の話を聞いて、身近な問題としてとらえます。

## ゼミの主な研究テーマ

卒業生の研究テーマの一例です。

- フードバンクと子ども食堂における居場所づくり
- 百貨店のデバ地下における食品ロス削減について
- 廃食用油から再生可能エネルギーーバイオディーゼル燃料に着目してー
- 摂食障害と社会事象の関係性を探る

# 坂内久ゼミ

Hisashi Bannai SEMINAL

住居に関わる風の流れや熱など、物理的な視点から快適で省エネな暮らしを考えます。

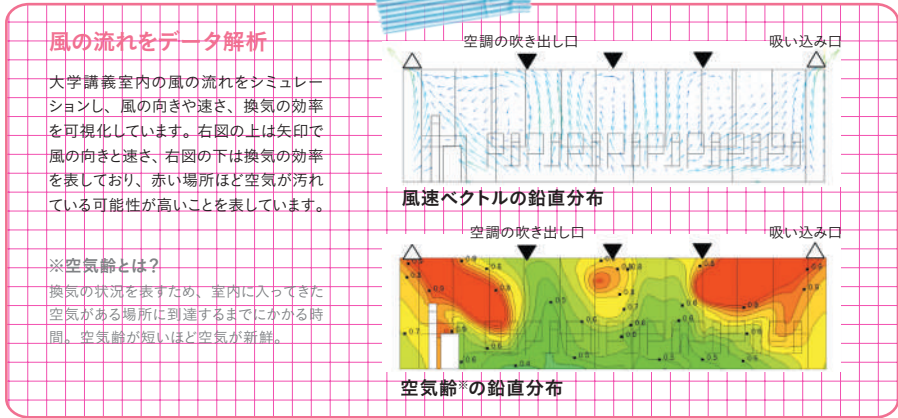


風速や風の感じ方の調査

公園など屋外で風速計を用いて風速の測定と風の強さを体感し、データを収集します。

実測結果を分析

風速計や二酸化炭素濃度計などで測定した結果を、パソコンに取り込み分析します。

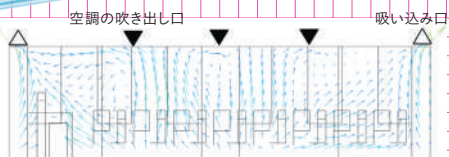


風の流れをデータ解析

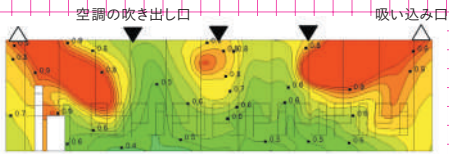
大学講義室内の風の流れをシミュレーションし、風の向きや速さ、換気の効率を可視化しています。右図の上は矢印で風の向きと速さ、右図の下は換気の効率を表しており、赤い場所ほど空気が汚れている可能性が高いことを表しています。

※空気齢とは？

換気の状態を表すため、室内に入ってきた空気がある場所に到達するまでにかかる時間。空気齢が短いほど空気が新鮮。



風速ベクトルの鉛直分布



空気齢の鉛直分布

大学構内、教室など身近な場所の比較調査



気温・湿度・風速・放射温度を測定し、身近な場所の温熱快適性を調査(左)。右は夏至の日の17時の教室内の照度のシミュレーション結果。日射の効果的な調節方法を探ります。

ゼミの主な研究テーマ

卒業研究のテーマの一例です。

- 大妻女子大学講義室におけるパーティションの設置が換気効率に及ぼす影響
- 計量テキスト分析による風速と風の感じ方・目撃した事象に関する検討
- 国分寺市におけるクールスポットの提案に向けた熱環境の実態調査
- 集合住宅における窓開閉状況が室内温熱環境に及ぼす影響

大橋寿美子ゼミ

Sumiko Ohashi SEMINAL

「コレクティブハウスかんかん森」のコロナ禍でない通常のコモンミールの様子 撮影：松本路子



居住者が生活の一部を協働で担い合います。コモンミールと呼ばれる協働の食事に参加しました。with/afterコロナ時代の共生型住まいの研究もしています。

「人と人、人と自然とが共生する住環境」を考えます。

今、我が国では一人暮らしの人や高齢者が増える中で、昔のような地域や自然とのつながりが少なくなってきています。ゼミでは、孤立や孤独を防ぐ、家族を超えたつながりや、自然を感じながら暮らす「人と人、人と自然とが共生する住環境」について考えていきます。実際の住空間の使い方を調査し、住まい手に合った暮らし方や住環境デザインの研究・設計を通じて、提案力も身につけます。集合住宅内のコミュニティや地域でのサードプレイスづくりも、平時には実践しています。



Sumiko Ohashi

東京都生まれ。住宅メーカーでの勤務経験から、デザインや研究だけでなく、社会で生きる力の育成も関心事のひとつです。学生時代は、演劇やクラシックバレエ、日本舞踊をしていました。最近は、ピラティス、筋膜リリースなどの運動と食を大切にしています。

ゼミの主な研究テーマ

卒業生の研究テーマの一例です。

- 環境共生住宅の研究・設計
- With/After コロナ時代の住宅とワークスペースの研究・設計
- 共生型住宅「コレクティブハウス」の研究・設計
- 資産運用型「賃貸併用住宅」の研究・設計



様々な住まい方・空間を体験

コレクティブハウスなど共生型住宅での暮らしの体験から、家族を超えたつながりを生む住まい方と空間が実感できます。



コミュニティ活動に参加

世田谷区営『深沢環境共生住宅』のコミュニティ活動に参加し、暮らしや環境への実態、居住者の要望などを調査。

地域の魅力と住環境の「再生」をワークショップなどから考えます。

ゼミでは、おもに郊外の住宅地の住環境の変化や居住者の住まいのニーズを把握するために、アンケート調査やワークショップを開催して、積極的に住民との意見交換を行っています。多摩市との地域連携プロジェクトでは、住まいへのさまざまな考え方にふれ、身近な環境を魅力あるものにしていくアイデアを提案しました(2020年まで)。「街区公園」では、自分達で管理して快適な場所(地域の庭)にしていくための協働について考えていきます。二級建築士の国家試験受験資格の取得もめざします。



Nobuko Matsumoto

東京都生まれ。卒業研究は、同潤会代官山アパートの居住者調査でした。夏休みに代官山に通って、調査に奮闘した経験が現在の研究につながっています。いわき市豊間で被災者の声を聴く活動と住宅再建の復興支援を行っています。サッカー観戦や美味しいものを食べることが至福の時。

ゼミの主な研究テーマ 卒業生の研究テーマの一例です。

- 子育てで家族の住まいと住環境について
- 市民ワークショップから考える公園の再生——多摩中央公園の社会実験
- 首都圏分譲マンションの供給に関する研究
- 東急田園都市「美しが丘地区」のまちづくり
- 住宅セーフティネットとしての居住支援協議会の現状と課題
- 分譲マンションの管理の実態



学生作品「ギャラリーカフェ+住宅の設計」(住宅課題賞2022入選)。街の“余白”を活かし周辺環境と一体になる“渦”のような空間を創造。身近な環境をより魅力あるものにしていくアイデアを模型に落とし込み、提案していきます。



子育て世代の住環境調査

多摩市で子育てをする家族にとって「多摩の魅力と課題は何か？」を参加者と共有し、提案書にまとめました。



地域連携プロジェクト

多摩市公園緑地課とともに「多摩中央公園改修」のための市民ワークショップ・社会実験に関わり意見交換をしています。

Theme  
暮らしと住まい



# 木下 勇ゼミ

Isami Kinoshita SEMINAL

自然と共生できる「まちづくり」と  
コミュニティをデザインします。

ゼミでは、子どもの遊び場や公園、食べられる景観、庭、ピオトープや自然再生、歴史的景観、空き家リノベーションなど、自然環境と共生できる社会を作るための「まちづくり」を目標に、人と生態環境を考えるランドスケープとコミュニティをデザインしていきます。3年生の建築都市ゼミではキャンパス周辺のまちづくり提案を、4年生はできるだけ模型などの制作をしながらまちづくりや施設の計画設計に取り組んでいます。



Isami Kinoshita

静岡県生まれ。もともとは建築や都市計画が専門です。私自身も古民家を修復し、庭の手入れをするなど、自然のある生活を楽しんでいます。また、50m自由形30秒台、バタフライ40秒台を目標に、時々水泳に行くことにはまっています。何ごとも「決してアキラメナイ」気持ちが大変!

HP  
<https://www.machiwork.net/>

## ゼミの主な研究テーマ

2022年度の卒業研究テーマから

- 三富新田の平地林を活かした循環型社会のまちづくりと道の駅の提案
- アウトレットに隣接する多機能公園の提案
- 持続可能なまちの再生と学びの場の提案 ~東武動物公園を拠点として~
- 住みやすさの指標から考える住み続けられるまちづくり



### 宿場町で古民家体験

静岡県蒲原という宿場町にある築162年の古民家に滞在。伝統的な街並みを歩き、地方活性化について考えます。



東郷公園での  
コミュニティ  
ガーデンづくり

### まちづくりに関わる

まちづくりの現場に参画し、地域のひととともに課題解決に向けて計画・設計、コミュニティデザインの方法を学びます。

# Guide

for learning "KANKYO"

環境について学べるオススメの場所

日常から離れて、客観的に  
世界を見られる自然の中へ



丹沢山地や奥多摩、秩父もオススメ!

鹿児島島の霧島連峰。高千穂峰の爆裂火口から山頂へのぞむ風景です。高校生の時に、自然の中で過ごした数日がとても印象的でした。自然への畏敬の念や文明を築きあげた人間の力にも感動したことを覚えています。(鈴木)

日本の環境問題の原点にふれる  
尾瀬ヶ原



標高1,400mに位置する湿原です!

福島・新潟・群馬の3県にまたがる尾瀬の中心にある湿原の「尾瀬ヶ原」は、豊かな自然とさまざまな植生が見られます。自然保護の原点としても古くから知られ、身近な環境を守ることの大切さをあらためて学べる場所です。(坂内)

後世に残したい豊かな自然  
小笠原諸島



南島のエコツアー(東京都自然ガイド)

ホエールウォッチング(ザトウクジラの子供)

東京都にある大小30余の島々からなる諸島。貴重な動植物の宝庫で、世界自然遺産にも登録されています。山々の大自然と、イルカやクジラなど海の生きものも身近に感じられる後世に残したい場所です。(黒沼)

Theme  
自然科学



日常生活で使われている  
身近な化学物質から環境を考えます。  
鈴木 優志ゼミ

Masashi Suzuki SEMINAL



Profile



Masashi Suzuki

東京都生まれ。植物生理学を専門にしています。自然や歴史の残る場所など古さと新しさが同居する郊外の魅力を感じながら散策したり、公園や路肩に咲く花を見て季節の変化を感じたりするのも楽しみのひとつです。



多摩川と荒川の水質調査を行っています。河川の水質の違いや、定点観測をすることで、環境への負荷がどう変わっていくか観察していきます。

自然環境に大きな影響を与えている水質汚染の原因の約70%は、生活排水由来と言われています。ゼミでは、家庭のキッチンから流される油や洗剤などの化学的な性質を学び、それらを土壌に含ませた時の植物への影響などを研究しています。日常生活で何気なく使っているさまざまな化学物質が、私たちの生活環境にどのようなインパ

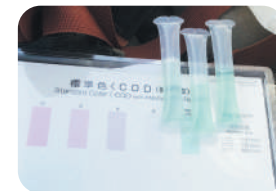
クトを与えているのかを実際に感じることで、毎日の生活の中からライフスタイルを変えていこうとする意識の変化にもつながります。また、自然や社会環境への負荷をかけないようにするために、何が必要かを考えていきます。

ハツカダイコン等の植物をLEDライトの人工気象機で栽培している様子。比較すると、はるかに成長に違いが出ています。



### 化学や生物の基本から

試薬作りから植物の育成・微生物の培養まで。化学式などが苦手な人でも、基本から学び、実験を丁寧に行うことで化学の視点を養います。



### 環境モニター調査

河川からサンプリングをして、環境調査を行います。生活排水をいかにきれいにするか、油を分解する微生物の探索など水質改善に向けた研究も行います。



### 植物への影響を観察

生活排水に含まれる油やマイクロプラスチック等の化学物質が植物の成長に与える影響を、実験を通して明らかにしていきます。

### ゼミの主な研究テーマ

卒業生の研究テーマの一例です。

- 油や洗剤が植物の成長に与える影響の解析
- 植物によるマイクロプラスチックの取り込みとその影響
- 大学周辺の河川等における定期的な環境モニター







環境保全活動を知りOGとの交流も

### エコライフフェアに参加！ at 代々木公園

イベントを見学し幅広い社会の環境保全活動への理解を深め、研究のヒントを探ります。卒業生も家族で参加し、相談にもってくれます。



友達と楽しくワイワイしながら実験しています！

### キッチンから環境問題を考えてみよう

植物油等キッチンから出る化学物質が植物の成長にどのように影響するのかわかり、実際に植物油を混ぜた土に植物を植えて調べます。



就職の面接でも役立つようなコミュニケーションスキルを学べます！

### ワークショップの手法を学ぶ

ワークショップで参加者が打ち解けやすくなる仕掛け「アイスブレイク」はいろいろ。恥ずかしがらずに積極的に自分を出すのがポイントです。



どんな色になるかドキドキしました！

### 植物管理の廃棄物で染色に挑戦

植物の管理で廃棄物が出ます。捨てずにその活用を考えて染め物にトライ。タマネギの皮、フジの剪定枝(葉)で染めてみました。



卒業論文では「日本企業におけるESG投資の課題」に取り組みました。

### 卒業生による採用・インターン説明会を開催

卒業生が採用・インターン説明会を開催。IT企業にCSR(企業の社会的責任)担当で採用された学生もいます。

# 学びの SNAP

授業や3年生からはじまるゼミでは、座学だけでなく、ワークショップやグループ制作、フィールドワークやイベント参加など探究型の多様な学びを行っています。

### プラナリアを育てて観察

著しい再生能力を持つことから、再生研究のモデル生物として用いられています。よく見ると小さな目かわいらしいプラナリア。

研究室にいます！

何が大きな課題なんだろう？



### 地域の方のお話を聞く

キャンパスのある番町では最近、マンションの立地から子育て世帯が増えつつあります。子育て中のお母さんたちから話を聞き、子育てしやすいまちのあり方を探りました。

### ゼミ生で企画し、観望会を実施！

ゼミの仲間で一緒に観望して気づきや考察を議論することで様々な学びを得ることができます。



太陽の表面を望遠鏡で観察。その迫力に感動しました！

先輩や友達とのつながりも強くなりました！



### 大学祭で「能登展」を開催

地域連携として夏合宿などで訪れる石川県能登半島。秋の大学祭では学びの成果を展示したり、能登の物産を販売しています。

自己分析のメモを参考資料として見せてもらいました！



### 4年生から就活の体験を聞く

就職活動中の3年生が、4年生に就職活動について自由に質問・相談できる場をつくっています。

手を動かして一緒に作る時間も楽しいです！



### “ペットボトルハウス”で温熱環境を測定！

トレーシングペーパー、すだれ、樹木など様々な素材・条件で遮光したペットボトルハウス。内部の温度上昇の様子を調査する実験です。



### 大学周辺を調査。地域の特徴をテーマに冊子に！

周辺はオフィス街ですが、飲食店が多くはありません。そこで、ランチタイムにやってくるキッチンカーを調査。街におけるパブリックスペースの意義を身近なテーマから深めていきます。



# A Day in the Campus



## ある日の千代田キャンパス

カンキョー(環境情報学専攻)の所属する社会情報学部は千代田キャンパスにあります。H棟には、講義室、ゼミ室、情報処理自習室、研究室などが入っています。H棟、隣に建つ本館、大学校舎の一部をご紹介します。

千代田キャンパスは大妻通り沿いに校舎が並び、街にひらかれた都市型キャンパス。本館F棟エントランスにて。

## A Day In The Campus

### H棟で学ぶ

Lecture Room



**講義室で授業**  
H棟の1、2階にある講義室。情報化社会に相応しい充実した設備となっています。



PC Room



**パソコンルームで情報収集!**  
情報処理自習室は、日々の調べ物はもちろん、レポート作成や就職活動の情報収集にも活用できます。

Kotacafé



**学生食堂 kotacafé でおいしいランチタイム**

本館F棟2階には、創立者・大妻コタカ(下)にちなんで名付けられた学生食堂 kotacafé があります。メニューは、栄養バランスを考えた日替わりランチをはじめ、ホテルニューオータニのレシピが基になっている特製「大妻ビーフカレー」まで充実のラインナップです。

230席ある椅子の大半は、北欧デザイナーズチェアの名品。

Library



**図書館でテレキューブ活用**

テレキューブという予約制の個別ブースがあり、就活やオンライン講義などに特化した設備が導入されています。

大妻コタカは猫をとでも可愛がっていました。学内には愛くるしい猫の銅像があります。



Atrium & Lounge



### 「大妻サポート」でお買い物

アトリウムの奥には、購買部のほか、証明写真の撮影や免許の申し込み、袴のレンタルなど多方面からキャンパスライフをサポートする「大妻サポート」があります。

### Kotaka Kitchen



### Lounge Ryoma



**アトリウムでティータイム**

「KOTAKA KITCHEN」ではおいしい定食が。焼き立ての石窯ピザやパンも人気です。また創立者・大妻コタカの夫・良馬から名付けられた「LOUNGE RYOMA」はソファ一席のある居心地のよい空間です。

## アトリウムでリラックス

# 未来TALK

将来を描きながら  
自分の視野や  
可能性を広げよう!

## ITパスポート

ITに関する基本的な知識を証明する、経済産業省認定の国家資格。情報技術に関わる仕事に活かせる基礎的な内容のため、就職を視野にいれて取得する学生が多い人気の資格。

学生時代の話先輩たちに聞いてみました!

## 就職・進学

本学では1年次からの就職指導で、さまざまな業種への高い就職実績を実現しています。

### 環境情報学専攻のおもな就職・進学先

| 業種        | 企業名   |
|-----------|---|
| 建設        | スウェーデンハウス/積水ハウス/大和ハウス工業/パナソニックリフォーム/横河ブリッジ/ライ工業   |
| 製造        | 山洋電気/スタンレー電気/TDK/ディスコ/日本海水/ホーチキ/松村電機製作所/村田製作所   |
| 情報通信      | アイネット/NSD/NTTコムウェア/キャノン電子テクノロジ/ソフトバンク/DTS/東芝情報システム/日立ICTビジネスサービス/富士通エンジニアリングテクノロジーズ/三井情報      |
| 運輸        | JALスカイ/東日本旅客鉄道  |
| 卸売・小売     | キャノンマーケティングジャパン/ダイワボウ情報システム/東京エレクトロン/パナソニックマーケティングジャパン/三井物産プラスチック/三菱商事ケミカル/三菱電機住環境システムズ/ミツワ電機 |
| 金融・保険     | 国際協力銀行/ゆうちょ銀行/八十二銀行/三井住友信託銀行/大和証券/第一生命保険  |
| 不動産・物品賃貸  | 旭化成不動産レジデンス/住友不動産販売/三井不動産リアルティ  |
| 専門サービス    | 砂防・地すべり技術センター/三菱重工環境・化学エンジニアリング   |
| 宿泊・飲食サービス | タリーズコーヒージャパン  |
| 教員        | さいたま市教育委員会/相模原市教育委員会  |
| 医療・福祉     | 深谷赤十字病院   |
| 複合サービス    | さがみ農業協同組合   |
| 公務員       | 警視庁/東京消防庁   |
| 主な進学先     | 東京大学大学院/日本女子大学大学院   |

## 進学 ▶ 就職

### 環境についての知識・経験を今の仕事につなげています。

田垣奈保さん(2018年3月卒業)

|     |  |
|-----|--|
| 留学先 | アメリカ マレー州立大学 IIS(10か月)                     |
| 進学先 | 東京都立大学院 都市環境科学研究所 都市政策科学域(2018年4月~2020年3月) |
| 就職先 | 株式会社 NTTドコモ                                |

高校時代、環境について興味があるものの具体的に将来のやりたいことがわからず、オープンキャンパスに行ったことを今でも覚えています。ここなら、やりたいことを探しながら興味あることがすべてできそう!と思い入学を決めました。

学生時代は授業だけでなく、長期留学にも参加。語学や異文化理解、植物の遺伝子解析など幅広く学んでいくなかで、**自然災害やまちづくりについて専門的に学びたい**という思いが強くなり、進学をしました。

大学院では、熊本地震の再建調査や木造密集地域との防災まちづくりのワークショップ、ワシントン大学との共同研究などに参加し、災害時の情報収集を研究テーマに修士論文を執筆しました。

現在は、株式会社NTTドコモで通信のインフラを支え、みなさまに安心安全な環境を提供する仕事をしています。今の私があるのも、**4年間の大学生活を通して環境に関する知識・経験をボーダレスに培えたおかげだ**と思っています。



## 就職

### 教員採用試験(理科)に合格しました!

丸田絵里佳さん(2023年3月卒業)

環境について理系・文系の両面から学び、さまざまな視点から考えることができるようになりました。実際に教員として働く中で、教科指導はもちろん、生徒指導の際にも活かされているとよく感じます。

卒業研究では実験手順や結果をわかりやすく伝える方法についても意識していました。**授業やゼミでは自分になるほど!おもしろいな!**と思った部分を大切にしてください。その好奇心が学びを深める手助けをしてくると思います。



## 進学

### 東京学芸大学大学院 教育学研究科 教育支援協働実践開発専攻 松尾英里子さん(2024年3月卒業)

私は宇宙環境について学ぶゼミに所属していました。卒業後も研究を続けたいという思いが強くなり、進学を決めました。授業のほか、観測や解析などの研究活動を通じて専門的なことを学びました。苦手な科目には苦勞しましたが、先生のご指導もあり、粘り強く学ぶことで力になりました。

まだやりたいことが分からなくても、**自分が少しでも興味のあることを見つけたら、積極的に行動するのをおすすめ**します。きっと皆さんの力になると思います。

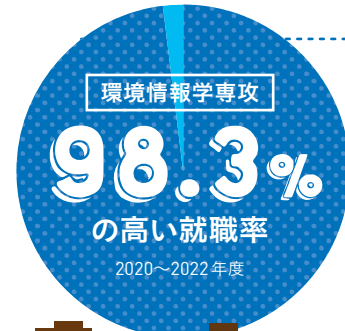


## 進学

### 千葉大学大学院 園芸学研究科 ランドスケープ学コース 関根有莉愛さん(2024年3月卒業)

授業やゼミで学んだ専門科目を深めたいと思い、進学を決めました。

受験勉強と卒業研究、アルバイト等の両立が大変でしたが、**学校の図書館等を活用し、集中して勉強する環境を整えることを意識**しました。また、他大学を受験したため、内部生との知識量の差に不安がありました。これまでの授業資料が役に立ちました。環境情報学専攻は、幅広い分野について学ぶことができるため、興味関心や可能性を広げていけると思います。



## 進学

### 日本女子大学大学院 家政学研究科 住居学専攻 池田百花さん(2024年3月卒業)



卒業研究をさらに専門的に学びたいという思いが強まり、進学を決めました。授業選びでは、苦手意識のあった科目を履修し、じっくり向き合うことが大学院受験にも役立ちました。入試では主に大学で学ぶ幅広い専門分野の知識が問われます。**疑問や探求心を持ち続けて、先生方にヒントをもらいに行くのが、楽しく学習を進めていくコツ**です。大学院では「環境」からの視点を活かした建築を提案するなど大妻での学びが今につながっています。

## 二級建築士

環境情報学専攻の所定の科目を取得することで、実務経験なしで受験資格が得られます。  
※単位の取得状況に応じて、実務経験年数が1年、または2年となる場合もある。

## 2級ビオトープ計画/施工管理士

地域の野生の生きものが生息する空間を守り、自然を活かした暮らしと社会の実現が、ビオトープ管理士の仕事。様々な企業・自治体が、環境評価資格として活用しています。

## 受験資格を取り、卒業後に二級建築士に合格しました!

小幡美奈さん(2023年3月卒業)



“地図に残る仕事をした!”という思いから、建築士になろうと高校生の時に心に決めました。大学生活では、**疑問や気付いたことを一言一句メモに取り、より多くの知識を取り入れるよう意識**していました。

「雨垂れ石を穿つ」ということわざがあります。自分の芯を大切に、限界を決めず挑戦し続けること。それが、自分の人生を実りあるものにしてくれるということ。4年間の大学生活が教えてくれました!(資格取得:2023年12月)

佐藤里歩さん(2022年3月卒業)



学生のころ、実家の建て替えをしました。その際に一緒にお話した建築士さん、インテリアコーディネーターさんに憧れを持ち、建築士を志しました。**受験資格を取得した社会人1年目に学科に、2年目で製図に合格**しました。

勉強時間を確保するのは大変でしたが、**4年次に受けた大学提携の日建学院の授業で勉強**していたので、ある程度の知識がある状態で社会人として勉強に望めたのもアドバンテージとなりました。(資格取得:2023年12月)

## インテリアコーディネーターに合格しました!

柿本詩織さん(2023年3月卒業)



資格取得を目指したきっかけは、大学で学んだことを資格という形で残しておきたかったからです。**講義の内容がインテリアコーディネーター(IC)の試験内容に直結**していたため、受験にも不安はありませんでした。

学生時代は特に住宅設計の講義が楽しかったです。想像を膨らませながら人々の暮らしを設計した経験は、現在のインテリア販売の仕事にも活かしています。ICを受験した3年生の前学期は、製図課題もあり忙しく過ごしていましたが、今では充実していた良い思い出です。(資格取得:2022年4月)

## 資格取得

環境・建築・ITに関する様々な資格も取得できます。

教員免許の他、環境情報学専攻ならではの資格取得もサポート!!

### 科目履修で取得できる資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状(理科)
- 学校図書館司書教諭
- 図書館司書 ○博物館学芸員
- レクリエーション・インストラクター
- 二級建築士(受験資格) ○木造建築士(受験資格)

### その他目指せる資格

- 2級ビオトープ計画管理士
- 2級ビオトープ施工管理士
- 環境マネジメントシステム審査員補
- 環境管理士 ○環境プランナー・ベーシック

他にも、「基本情報技術者」や「ITパスポート」など、ITのスキルアップに役立つ資格の特別対策講座も開設しています\*。

\*大妻女子大学では、「基本情報技術者試験」と「ITパスポート」の国家試験の合格を目指す対策講座のほか、MOS(Word/Excel/PowerPoint)やACA(Illustrator/Photoshop)といったオフィス系やWEBクリエイターを目指す講座も開講しています。